

レポート1



2/23~24

知ろう そして行動しよう

あづみ野環境フェア2008



環境基本計画など各種調査や
取り組みなどのパネル展示



リサイクル自転車の抽選販売

雄大な北アルプス、田園風景、清らかな水。私たちは安曇野の豊かな自然環境を次世代に残していく義務があります。市では、教育委員会、環境基本計画策定委員会との共催で、2月23日から24日にかけて、穂高会館で「あづみ野環境フェア2008」を開催しました。

安曇野の環境を 未来に引き継ぐために

市では、安曇野らしい景観や環境を守り、未来に引き継ぐための行動指針となる「安曇野市環境基本計画」を策定し、4月からその取り組みを開始します。

「あづみ野環境フェア2008」は、環境基本計画の実行に向け、市民の皆さんに計画の内容を知ってもらうとともに、安曇野の自然環境などの現状を広く伝え、何をすべきかを考え、実際に行動



「緑のリサイクル」で活躍する
移動式破砕車



フリーマーケットは全55店が出店。
来場者でにぎわった



体育館内では各団体のブース展示の
ほか、「マイはし」づくりなどの体験
コーナーも設置された

動するきっかけにしてもらうために開催しました。23日の開会式では、計画策定委員会の千國温会長が市民・事業者・行政が連携して、より良い安曇野の環境を未来の子どもたちに引き継いでいくための「環境フェア宣言」を行い、平林市長は「市として環境宣言の制定を目指し、環境の先進地として市民とともにこの計画

を実行していきたい」とあいさつし、環境フェアが幕を開けました。会場では、環境に関する情報の展示や環境活動を行っている学校、団体、企業のブースが開設されました。このほかペットボトルを利用して作るペットフラスコやマイはし作りなどの体験コーナーでは、親子連れなどで賑わいました。また、ムツゴロウの愛称で活躍



環境保全などで市内で活躍する学校や
団体の活動発表会



ホープーズ・パペット・シアターの人形
劇「河童の涙」では、会場は超満員に

する畑正憲さんの講演会には、約700人が来場したほか、環境活動発表会、フリーマーケット、人形劇、リサイクル自転車の販売など多彩な催しも行われ、多くの人が楽しみながら環境についての理解を深めていました。市では、環境基本計画の周知と意識の向上を目指し、3月下旬にダイジェスト版を全戸配布します。



千國温・環境基本計画策定委員会会長の
あいさつでイベントが幕開け



市内のごみ問題などの現状も分かり
やすく展示された



ムツゴロウさん、登場！